

ボランティアで相手の真の姿が見える？ 婚活アドバイス歴40年 JMIC業務委員会委員 土橋小春が伝授、婚活の極意 5カ条

JMIC主催「ボランティア婚活イベント」開催決定

11月5日(日)東京、11月12日(日)大阪
9月初旬 参加受付開始

皆様の幸せな結婚をサポートする一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会(以下JMIC)は、気軽に婚活を体験できるイベント、「ボランティア婚活イベント」を11月5日(日)に東京、12日(日)に大阪にて開催いたします。

そろそろ結婚を見据えてお付き合いするお相手が欲しい…。そう思いながらもなかなかぴったりのお相手に出会えず焦りを感じている方も多いのではないのでしょうか。お相手に対して多くの条件を掲げる方も多くみられますが、結婚において本当に大切にすべきこととは。

今回は、JMIC業務委員会委員兼カリスマ婚活アドバイザー、土橋小春(日本仲人連盟所属)が40年にわたり「出会いや結婚」に携わってきた経験から、婚活の極意5カ条を伝授するとともに、「ボランティア婚活イベント」のおすすめポイントを紹介いたします。



JMIC業務委員会委員 兼 カリスマ婚活アドバイザー 土橋小春(日本仲人連盟所属)からのメッセージ

はじめまして。JMIC業務委員会に所属する日本仲人連盟でアドバイザーを務めます土橋小春と申します。1974年より約43年にわたり、世の中の結婚したい皆様の方のお手伝いをしてまいりました。

社会の最小単位は夫婦のふたりだと考えています。どんなことがあっても絶対に見方でいてくれる存在がいるということは、生きていくうえでとても心強いこと。結婚しないという選択肢を取られる方も増えておりますが、明確に結婚しない理由がある方以外は一度「婚活」を始めて見ることをおすすめしています。きっとそこには素敵な出会いが待っているはずですよ。

ひとりからふたりになることで確実に世界は広がります。皆様の世界を広げてくれるお相手探しの一助を担えたら大変幸せに思います。

●婚活中の方へのアドバイス

「結婚したい」と思っている人はもちろん、「よくわからない」人も、なにはともあれ行動をしてみてください。行動する場所が私たちのような「結婚相談所」でも「マッチングアプリ」でも「婚活イベント」でも何でも構いません。出会いの幅は年月の経過とともに狭まっていくことがほとんど。早く行動するに越したことはないのです。「結婚したい」と思っているだけでは何も始まりません。まずはきっかけづくりで様々な場所に足を運んでみましょう。今回のような気軽に参加できるイベントもおすすめです。小さなきっかけから、あなたの人生が大きく変わるような新たな出会いが生まれるはずですよ。

土橋小春プロフィール

1953年 新潟県生まれ

1971年 給食会社に就職し、栄養士を目指す

1974年 結婚と同時に、夫が立ち上げた(株)日本仲人連盟を手伝う

2015年 (株)日本仲人連盟がJMICに加盟企業として参加、業務委員として活動

婚活の極意① 相手にも条件があるということを知るべし！

結婚が決まらない方の特徴としてまず第一に、「自分の条件」だけを追い求めているということがございます。年齢、収入、学歴、容姿などお相手の方の条件付けに必死になり、お相手の方にも相応の条件があるということをお忘れの方が多いように感じます。例えば年収1,000万円以上の男性を希望する方や20代前半の女性を希望する方。そんな方たちご自身はお相手の方に一体なにを与えられるのでしょうか。相手に求めるばかりではなく、自分が相手に何を与えることができるのか考えましょう。そうすることで、出会いの幅はぐっと広がるはずです。

婚活の極意② 結婚は男と女 タイミングと勢いを大切にすべし！

「タイミングと勢い」は結婚するのに一番大切なことと言っても過言ではありません。今の20～30代の方たちは男女平等の世の中で育ってきており、女性も社会に出て男性と対等に渡り合う時代となっています。そのため、長く付き合えば付き合うほど、「男と女」という関係ではなく、友人同士のような関係になってきてしまうのです。昔は20代も半ばになると行き遅れなどと言われ、周りからのプレッシャーもあったことから、まさに「勢い」がありました。今は個々が自分のライフスタイルを持っているため、「勢い」での結婚はあまりなく、結婚を難しく遠いものになっているようです。

さらには女性の行動範囲も広がったことから、男性を見る目も肥えてきており、別の男性と自分のパートナーを比べて結婚に二の足を踏んでしまうことも多いですね。お互いが「この人とずっと一緒にいたい」と思ったときがまさに結婚のタイミング。「今のパートナーより良い人」なんてほとんど現れないと思ってください。「あのときしておけば」と思う頃にはもう手遅れなのです。「なんとなくいつか結婚できるだろう」という気持ちでは結婚できない時代になってきています。自分の気持ちに素直になり、「タイミングと勢い」を大切にしてください。

婚活の極意③ 相手に合わせるのではなく相手を認めるべし！

相手に合わせなければ、と思う方が男性も女性もとても多いです。好きな相手に趣味から生活のスタイルまで合わせたくなる気持ちは大変よくわかりますが、それではうまくいきません。相手に「合わせる」のではなく相手を「認める」ことがとても大切です。「この部分が合わなければ相手に嫌われてしまうのではないかなどと考える必要はありません。「わたしはこれが好き」「あなたはそれが好き」それでいいのです。

そこでうまくいかなくなってしまうのであればそれまでの関係だったということ。はじめは我慢して合わせていてもいずれはストレスがたまりほころびが出てきてしまうものなのです。

婚活において無駄な時間は少しもありません！

あとから「やっぱり合わなかった」ではどんどん手遅れになってゆくのです。



婚活の極意④ 相手のスペックよりも自分の気持ちを優先すべし！

極意③につながる話となりますが、お相手が高スペックであればあるほど、手放すこと惜しさに自分の気持ちにウソをついてお相手に合わせている方が多いようです。本当にそのお相手は一生添い遂げたい相手でしょうか。“スペック”というのは日々変化するもの。月日の経過とともに年齢は重ねますし、今の時代、突然職が失われることも考えられます。まずはあなたがお相手のどこが好きなのか今一度考えてみてください。スペック以外で気持ちが通じる部分、直感の部分を大事にしてください。突然スペックが失われても一緒にいたいと思える相手であれば、どんなつらいときもともに頑張れるお相手だと思います。

婚活の極意⑤ 相手を尊重しながらも、自分の思いを伝えるべし！

これはすべての極意の基礎となる部分です。どんなことでも、まずは伝えないことには、お互い理解し合うことができません。自分の思いをしっかりと伝えられる方はどんどん結婚していきます。なかなか思いを伝えられないという方がいらっしゃいますが、そんな方でも「思い」がないわけではありません。自分の考えをまとめるのが苦手なだけなのです。そんな方はまず、自分の心の中を整理することから始めましょう。「婚活において何を重視するのか」「相手に求めること、譲れないことはなにか」「妥協できることは何か」「ライフプランをどうするのか」など。そしてそれをお相手に伝えるときには相手の気持ちを尊重することです。「わたしはこう思う！」と押し付けるのではなく「わたしはこう思うんだけど、あなたはどう思う？」と相手の意見を聞く姿勢を持ちましょう。こうしてお互いを理解し合っていくことで初めて次のステップに進めるのです。

土橋小春へのご取材が可能です。
下記テーマなどもお話をさせていただくことができます。

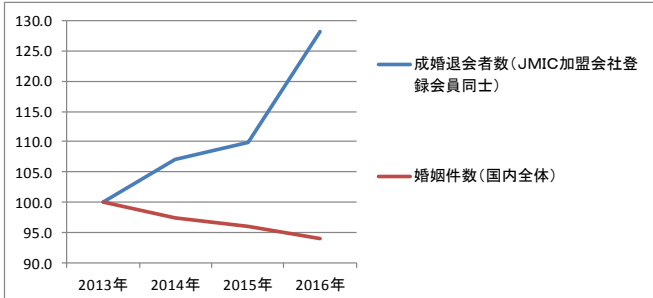
- ・結婚相談所の本当のところ メリットとデメリットとは？
 - ・結婚できる人とできない人、ココが分かれ目！
 - ・男性と女性の結婚への考え方の違い
 - ・婚活における最大の敵って？
 - ・結婚するのに必要なステップアップって？
- ・本当に今の相手でいいのか迷ったときにチェックすべきポイント
 - ・「愛される女性」になるために必要なこと
- ・真剣に婚活を考えるならアプリ？街コン？各婚活サービスのメリットとデメリットなど

秋の「ボランティア婚活イベント」開催決定！

JMICは海岸清掃をしながら婚活を体験できるイベント「ボランティア婚活イベント」を開催いたします。カリスマ相談役の土橋小春も太鼓判のイベントで、参加すれば一生のお相手が見つかるかもしれません。清掃のボランティアですがすがしい汗を流した後は、青空の元でBBQをしながら親睦を深めませんか。

おすすめポイント① 婚活のプロが提供する婚活イベント

国内の婚姻数の変化(2013年を100とした変化率)



<実数>	2013年	2014年	2015年	2016年
成婚退会者数 (JMIC加盟会社登録会員同士)	21,021	22,514	23,107	26,922
婚姻件数 (国内全体)	660,594	643,740	635,000	621,000

<2013年を100とした変化>	2013年	2014年	2015年	2016年
成婚退会者数 (JMIC加盟会社登録会員同士)	100.0	107.1	109.9	128.1
婚姻件数 (国内全体)	100.0	97.4	96.1	94.0

国内の婚姻件数が年々減少する中、JMICに加盟する結婚相手紹介サービス・結婚相談所連盟をご利用になって結婚された会員数は2013年の年間21000人から年々増加し2016年には年間約27000人の会員様が、結婚相手紹介サービス・結婚相談所を通じてご結婚されました。

国内の婚姻件数が年々減少する中、結婚相手紹介サービス・結婚相談所連盟をご利用されて結婚される方は、大幅に増加しつつあります。

数多くの会員を成婚に導いてきた婚活のプロ集団が提供する、安心して出会える婚活イベントです。

●土橋小春's コメント●

- ・条件ではない、気持ちでつながるお相手を見つけられる
- ・人の力を借りることの大切さを感じられる
- ・ボランティアなので、通常の婚活パーティーよりも気軽に参加することができる

おすすめポイント② 話題のスポットでBBQ

今回の会場となるのは今話題のあのスポット！アウトドアの楽しさを都会の真ん中で体験でき、非日常を気軽に体験することができます。おしゃれで素敵な空間で話も盛り上がること間違いなし。気になる会場は近日発表！

開催概要

<東京会場>

日時：2017年11月5日(日)10:00～15:00

海岸清掃会場：お台場海浜公園(清掃終了後BBQ会場へ移動します)

BBQ会場：9月初旬公開予定 募集人員：男性50名、女性50名

<大阪会場>

日時：2017年11月12日(日)10:00～15:00

海岸清掃会場：中之島公園(清掃終了後、交流会会場へ移動します)

交流会会場：9月初旬公開予定 募集人員：男性50名、女性50名

<応募資格>20歳～49歳の独身者(応募者多数の場合、抽選により参加者を決定します)

<申込方法>9月中旬より受付開始。<http://www.jmic.gr.jp/>にてイベント情報随時公開中。

※ボランティア婚活は無料となりますが、BBQ・交流会の材料費として500円頂戴いたします。

(現地にてお支払い)



JMICとは

■目的

本会は、我が国に於ける結婚相手紹介サービス事業の、調査、研究、倫理綱領・自主規制基準の作成及び推進などを行うことにより同事業の秩序の確立と健全な発展を図り、もって業界の信頼性向上を期し、国民の幸福に寄与することを目的とし活動しております。

■設立の背景と主旨

昨今、結婚を希望する独身者を取巻く社会環境は年々厳しさを増し、日本国内の婚姻件数は2000年79万8000件、2010年70万件、2015年63万5000件と、急速に減少する傾向にあり、政府は2015年3月「少子化社会対策大綱」を閣議決定し、その重要課題として「適切な出会いの機会の創出・後押しなど、地方自治体、商工会議所などによる結婚支援や、ライフデザインを構築するための情報提供などの充実を図る。」ことを求めています。また内閣府においては、平成25年度以降において、少子化問題への「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援」を行うことを目的に、地域の実情に応じたニーズに対応する地域独自の先駆的な取組を行う地方公共団体を支援する「地域少子化対策強化交付金」の取組がなされているところであります。

このような状況下、独身男女の幸せな結婚に向けた「婚活」をサポートする結婚相手紹介サービス業については、未婚化・晩婚化が進む少子高齢化社会の中で、益々その社会的役割が高まりつつあります。当協議会は国内で結婚相手紹介サービス業を営む主要な事業者及び連盟本部が賛同し、2015年に任意団体として発足いたしました。サービス御利用者間のご結婚による退会届出人数は、2013年の年間21000人から2015年には年間23100人へ、2年間で10%の増加を示しております。

日本国内の婚姻件数が減少する中で、ご結婚実績の増加傾向にある結婚相手紹介サービスの一層のご利用を促進することが、私たち結婚相手紹介サービスに携わる者の社会的責任であるものと認識し、社会の要請に応え得る一層の信頼性向上を図るため、このたび任意団体を発展的に解消し一般社団法人を設立することといたしました。

■加盟企業



■団体概要

名称：一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会
 所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目32番地6号 ハイヴ本郷401
 役員：理事長 株式会社ツヴァイ 代表取締役社長 縣 厚伸
 副理事長 株式会社シニアライフ 代表取締役 升村 要(マリックス)
 専務理事 元経済産業省 本吉 正